

みんなの議会

第81号

令和7年8月号

心
技
一
体



予算 6月補正 他..... 2~4

審議 私の判断・陳情 他..... 5~6

町政を問う 一般質問 8名が登壇..... 7~15

編集後記 他..... 16

「議会だより」
読者アンケート



令和7年8月31日まで

(議案第4号) 一般会計補正予算(第3号)

6億326万4千円を増額補正 **可決**

総額83億1千885万9千円に!

6月定例会

6月定例会を5日から24日までの会期20日間で審議しました。
5日には、専決処分等の報告、条例改正が提案・可決されました。
また、町長の所信表明に伴い令和7年度骨格予算であった当初予算に、一般会計補正予算など5件が提案され、委員会で審議しました。

18日・19日には一般質問が行われ、8名が登壇し、行財政全般に渡って質問しました。
24日には、補正予算、人事案件、委員会提出議案等が審議され、すべて原案のとおり可決及び採択しました。

●主な専決処分等

- ・南大隅町税条例の一部を改正する条例の専決処分
(税制改正に伴う改正)
- ・南大隅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分
(限度額の改正)
- ・令和6年度一般会計繰越明許費繰越計算書について
- ・令和6年度一般会計事故繰越し 繰越計算書について
- ・令和6年度水道事業会計予算繰越計算書について
- ・令和6年度一般会計補正予算(第16号)の専決処分
- ・令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)の専決処分
- ・令和6年度診療所事業特別会計補正予算(第5号)の専決処分
- ・令和6年度介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第5号)の専決処分

●主な条例改正

- ・南大隅町ゴールドビーチ大浜海水浴場条例の一部を改正する条例
(指定管理者制度の導入)
- ・南大隅町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
(選挙に携わる職の報酬額の改定)

「選挙管理委員会委員を選出」

選挙管理委員会委員に、議長の指名推選により次の方を選出しました。

【選挙管理委員】

伊比禮 純一氏(根占山本)
持留 志保子氏(根占川南)
花里 友二氏(佐多馬籠)
熊之細 章子氏(佐多辺塚)

【補充員】

畦地 耕一郎氏(根占山本)
弥永 澄江氏(佐多伊座敷)
川越 貢氏(佐多郡)
岩下 くに子氏(根占川北)

(任期) 令和7年6月30日から
令和11年6月29日まで

「教育委員会委員任命に同意」

畠中 泉氏(佐多伊座敷)の
教育委員会委員の任命に同意しました。

(任期) 令和7年7月1日から
令和11年6月30日まで

6月補正の注目すべき事業（一般会計）

当初予算が骨格予算であったことから、今回補正で本年度の各事業費が計上され、すべて原案のとおり可決しました。主な事業等にかかる予算は次のとおりです。

「南大隅町誕生 20 周年記念事業」

（総務課 総務係）

南大隅町誕生 20 周年記念を迎えて、今後の地域作りのビジョンを町民と共有することで、令和 6 年度に策定した総合振興計画の進捗と町民の協働意識を向上することを目的として、各種の取り組みを実施するための予算です。

補正予算額：

825 万円

「避難所修繕事業」

（総務課 消防交通係）

新規事業

避難所は、災害時に住民が安全に避難し、必要な支援を受けるための重要施設でなければなりません。老朽化や設備の不備が問題となっている避難所が町内には多数見受けられます。地域住民が安心して避難できるよう、各避難所の修繕を行うための予算です。

- ・旧登尾小学校 ・旧大泊小学校
- ・古里自治会 津波避難所 ・大泊自治会 津波避難所

補正予算額：

939 万円

「地域おこし協力隊事業」

（企画観光課 政策調整係）

地域おこし協力隊に関する各種事業を展開するための予算です。

○募集事業

補正予算額：**222 万 7 千円**

○サポート事業

補正予算額：**196 万円**

○空き家改修補助金

補正予算額：**200 万円**

「関係人口拡大創出プロジェクト事業」

（企画観光課 ふるさと創生係）

関係人口の拡大創出と町の認知度向上を目的として、外部専門家の伴走のもと事業を推進し、町の資源と魅力を最大限、効率的に PR し、関係人口と町民による地域活性化、町産品の消費拡大とふるさと納税の推進を図るための予算です。

補正予算額：

771 万 6 千円

「移住・就業支援事業」

(企画観光課 ふるさと創生係)

東京圏から町へ移住し就業する等、一定の要件(鹿児島県 HP 掲載企業等)を満たした方に対して支援金を給付するための予算です。

補正予算額：

1 千 240 万円

「デジタル利用券システム機能拡充事業」

(デジタル推進課 デジタル推進係)

なんたんカードに新たに「寝たきり高齢者等紙おむつ助成事業 引換券」、「はり、きゅう等施術料補助金支給事業 はり・きゅう等受診券」、「福祉タクシー料金助成事業 福祉タクシー利用券」を設定するための予算です。

補正予算額：

2 千 917 万 7 千円

「みどりの食料システム戦略推進総合対策事業（有機転換推進事業）」

(経済課 農業振興係)

新たに有機農業へ転換を実施する農業者に対して、有機種苗の購入や土づくり、病害虫が発生しにくい圃場環境の整備といった有機農業の生産を開始するにあたり、必要な経費について支援するための予算です。

補正予算額：

5 万 4 千円

「家畜改良事業（滑川地区畜産環境整備事業（臭気対策）」

(経済課 畜産係)

新規事業

畜産環境をめぐる臭気問題は畜産経営の大規模化、農家・非農家との混住化などでますます厳しくなっており、養豚農家と連携し、関連施設に臭気低減効果のあるアンモニアメッシュを設置し、臭気対策に取り組むための予算です。(アンモニアメッシュ=臭気吸着分解する資材。)

- ・年間 2 農場整備 (外周 150m と 140m の農場)
- アンモニアメッシュ 1 巻 50m が 242,000 円

補正予算額：

198 万円

「佐多地区小中一貫校運動遊具設置事業」

(教育振興課 教育総務係)

佐多地区小中一貫教育がスタートしました。中学校の敷地を使用しているため、小学生の運動遊具が不足している状況です。遊ぶことで自然と体を動かす習慣を身につけ、児童の体力向上及び運動能力の発達を促進するため、学校中庭に運動遊具を設置するための予算が計上されています。

補正予算額：**940 万円**



私の判断

○…賛成、×…反対
欠…欠席、―…表決権なし

※議長は表決には加わりません。
※議員個人に関係のある案件の場合、
表決には加わりません。

4月の議案審議結果（令和7年4月28日）

		結果	肥後玄十	平瀬十助	上之園健三	後藤道子	森田重義	水谷俊一	津崎淳子	田中明郎	松元勇治	大坪満寿子	浪瀬敦郎	木佐貫徳和
承認	令和7年度南大隅町一般会計補正予算（第1号）の専決処分について	承認												
同意	南大隅町固定資産評価員の選任について同意を求める件	同意可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	監査委員の選任について同意を求める件	同意可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

5月の議案審議結果（令和7年5月1日）

議案	令和7年度南大隅町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
契約	請負契約（5災第336号道路災害復旧工事（伊座敷浮津線））の締結について（変更）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

6月の議案審議結果（令和7年6月5日）

報告	南大隅町税条例の一部を改正する条例の専決処分について													
	南大隅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について													
	令和6年度南大隅町一般会計繰越明許費繰越計算書について													
	令和6年度南大隅町一般会計事故繰越し繰越計算書について													
	令和6年度南大隅町水道事業会計予算繰越計算書について													
	令和6年度南大隅町一般会計補正予算（第16号）の専決処分について													
	令和6年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）の専決処分について													
	令和6年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算（第5号）の専決処分について													
	令和6年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第5号）の専決処分について													
議案	南大隅町ゴールドビーチ大浜海水浴場条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

6月の議案審議結果（令和7年6月24日）

陳情	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
予算	令和7年度南大隅町一般会計補正予算（第3号）について 他4件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	教育委員会委員の任命について同意を求める件	同意可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	南大隅町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	消防小型動力ポンプ積載車購入契約の締結について議決を求める件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	令和7年度南大隅町一般会計補正予算（第4号）について 他3件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
発委	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための2026年度政府予算に係る意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

【議案審議で出された質疑】

○一般会計補正予算関連

【質問】

プレミアム商品券について、石破首相が参院選を前に給付金の支給という物価高騰対策を打ち出したが、国の事業予定がある中で定期的に重複していないか。

【回答】

商工会の独自事業で、商店街の活性化支援がメインであり、商工会からの申請に対して、補助金を交付するという流れである。実施時期については商工会の判断。

【質問】

物価高騰対策福祉施設等支援事業について、今回、この支援を介護福祉施設に限定した理由は。配食センターにも支援が必要では。

【回答】

介護事業所からの支援要請があったため。

今、配食センターからも同様の要望があるが、国全体の予算配分がある。今後、現場の状況を把握し、支援していく考え。

【質問】

同事業について、900万2千円の予算額に対して交付金が663万2千円だが、交付金の範囲内での支援策の検討はされたのか。

【回答】

国からの交付を受けるには支援額に対する実績を満額にする必要があるため、これまでも町費を一部足して支援している。

契約

◆ 契約内容

消防小型動力ポンプ積載車購入

◆ 契約の方法

指名競争入札※

◆ 契約金額

10,890,000円

◆ 契約の相手方

株式会社KSB

購入車両は佐多地区島泊分団車庫に配置される予定

※指名競争入札とは…

町が資力、信用その他について適切と認める特定多数を通知によって指名し、その特定の参加者をして、入札の方法によって競争させ、契約の相手を決定する。

陳情

◆ 陳情第1号

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

【審査結果】

教育産業常任委員会に付託され、採択と決定。政府や関係機関へ意見書を提出すべきであるとの意見で全委員が合意。

【理由】

加配教員の増員や少数職種の配置増は、子どもの学びを保障するための条件整備として、また、義務教育費国庫負担制度の負担率引上げは、教職員採用試験の受験倍率低下や離職者・病欠休職者の増加を踏まえ、必要不可欠な措置である。

質問順	質問事項	質問議員
1	・災害復旧について ・災害時の備蓄物資について (8ページ)	津崎 淳子
2	・公共交通対策について ・教育行政の推進について (9ページ)	後藤 道子
3	・選挙公約や一般質問答弁における実効性について (10ページ)	上之園 健三
4	・町民生活最優先の取り組みについて ・ホテル佐多岬の民営化による再開発・観光推進について ・郡、大泊へき地診療所について ・自治会運営への支援について ・佐多地区小中一貫の機能拡充と公設寺子屋の創設の 取り組みについて (11ページ)	田中 明郎
5	・地域防災計画について ・災害対策について (12ページ)	森田 重義
6	・一次産業振興について ・公共施設について (13ページ)	肥後 玄十
7	・農業公社について ・自治会支援の取り組みについて ・馬毛島問題について (14ページ)	大坪 満寿子
8	・補助金のあり方について (15ページ)	水谷 俊一

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を資し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人当たり持ち時間は、答弁を含め60分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が構成したものです。

南大隅町議会では本会議の様子を YouTubeにて録画配信しています。

チャンネル登録をお願いします。

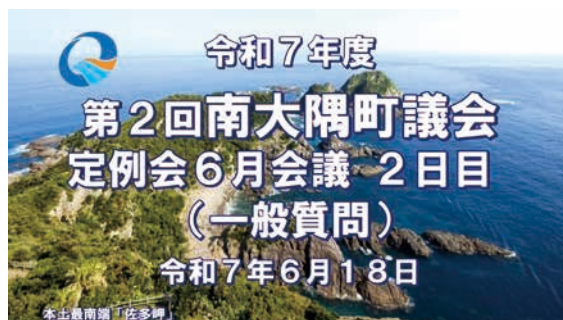
南大隅町議会



- ①スマートフォンのカメラを起動
- ②下の二次元コードにかざす
- ③「YouTubeで開く」をタップ



リンク先にはYouTubeサイトに開設している「南大隅町議会」のチャンネルが表示され、最新の議会動画や過去の動画を視聴することができます。



※8ページからの一般質問コーナーにある二次元コードを読み込むと、各議員の質問の様子が直接ご覧いただけます。



つぎき じゅんこ
津崎 淳子
議員

詳しくは
YouTubeで



問

昨年9月に知事宛てに議会から※災害復旧に関する意見書を提出したが、進捗状況は

建設課長 まず、県道68号線鹿屋吾平佐多線の大竹野地区については、災害復旧工事が今年度中に完了見込みとの回答を得た。

議員 国道269号線の石走、立神、大浜の排水対策は、立神神社付近の側溝改修及び道路を横断する流末水路の設計を終え、早期の工事着手に向け進んでいる。石走、大浜については、順次検討を加え、進めていくとの回答で、引き続き、早期完了に向け、県へ要望していく。

議員 県道68号線は、約2か月間、全面通行止めだが、これで工事は完了か。

建設課長

災害による崩土の上部付近の大きな岩を砕くための工事で全面通行止めにしており、その後、路面補修等も行い、今年度中に完了見込みと聞いている。

議員

県道鹿屋吾平佐多線は、

大中尾や辺塚、佐多の方々の生活道路であるので早期完了を目指して、引き続き、県と連携し、進めていただきたい。

また、国道269号線の石走、立神、大浜も大雨のたびに土砂流出で通行止めになり、生活、交通、物流、観光などに支障をきたし、地区の孤立化にも繋がるので、引き続き、流し水対策や排水溝等の設置を県に要望していただきたい。

※意見書全文は「みんなの議会」(78号)に掲載。

県道内之浦佐多線の辺塚入口の災害復旧状況は

町長

令和5年に上流からの増

水により県道の一部が崩壊したが、現在、路面の復旧は完了しており、排水路については今年度、管路工事が着手されている。

議員

辺塚住民は、この道路が通れず、流水による人家への被害も心配されている。早く安心できるように工事を進めてほしい。

大雨や台風のたびに町内の道路が通行止めになり、町民から、道路情報が入らないと聞く。町民や町外の方に災害場所や通行止めがわかる町内の地図アプリの作成はできないか。情報共有ができ、災害対策に追われる職員の業務負担軽減にもつながると考える。新たな情報手段、ツールとして構築する考えはないか。

町長

情報の迅速な伝達は、非常に重要で、ある程度、整いつつあるが、画期的な方法があれば、取り組んでいく。

デジタル推進課長

民間のアプリを参考に、今後、検討してまいりたい。

災害時の備蓄物資について

議員

令和6年度12月会議で提言した備蓄物資の保管分散を検討

されたのか。

町長

大規模災害に備え、地区公民館等とも連携し、分散方法を検討している。

議員

道路が寸断されたら、根占の山間部、海岸線、佐多地区は陸の孤島と化す。消防防災支援員の方も加わり、備蓄物資の分散について早期に協議していただきたい。

災害時用の救急用品や医薬品の備蓄状況は

町長

現状では行っていない。有事の際の対応として取り組んでいかなければならない。

議員

備蓄品としての医薬品の維持管理は大変なので、根占・佐多、2か所の調剤薬局と協定を結び、災害時に薬を提供してもらえば、管理コストや薬品の無駄もないと考える。

町長

災害時の応援協定という形で取り組んでいきたい。町民の皆様に良かったと思っていただけの避難所、対応し得る体制を整えていくべき。多くの提言については、きっちり取り組んでいきたい。



議員のひとり言

孤立化集落対策、備蓄物資対策など防災対策の更なる充実を !!



ごとう みちこ
後藤 道子
議員

詳しくは
YouTubeで



問 地域交通活性化協議会とは

町長 交通対策及び各運行の主たる 管理団体となる

議員 現在の公共交通対策をどのように捉えているか伺う。

町長 現在、鹿児島交通の廃止代替バスをはじめ、コミュニティバス、乗合タクシー、一般混乗型スクールバス等を行っている。今後においても変化する交通事情などを把握しながら、その需要に沿った合理的で利用しやすい公共交通の在り方を検討しながら進めることが重要と考える。

議員 公共交通を利用されている方々へのアンケート調査を行ったか伺う。

企画観光課長 町民アンケート、自治会長アンケートを実施した。

議員 アンケートを実施して今後のような対策が必要か伺う。

企画観光課長 公共交通を維持して欲しいとの意見は多いが、直近一年間の利用者は1割以下の現状で、自治会長の7割が交通弱者がいると回答。時間と路線が決まっている一般的なバスでは、利用しにくい現状だと理解している。

今後は利用される住民の方々の意向を上手く調整して無駄の無い効率的な運行ができればと考えている。

問

夢や希望を実現しともに
未来を創る人づくりとは

一例としてキャリア教育

町長 推進事業を開始

議員

人づくりの基本的な考え方はそれぞれにあると承知している。未来へ自己肯定感のビジョンを持つこと、教育や訓練を通じて自己実現や社会貢献のためのスキルを身に付けること、自己肯定感やチャレンジ精神を育むことなどが人づくりの基本的な考えだと私は考える。そこで、本町の小中学生は自己肯定感が高いと感じているか伺う。

教育長 調査結果を見ると全国と比べ、若干低い傾向にある。現在、本町では、各学校で自己肯定感を高めることにも取り組んでいる。

議員 自己肯定感とは3歳、7歳、10歳までに決まると脳科学者が言っている。多様性が重視される世の中なので、自己肯定感の高い人づくりを目指していただきたい。



情報モラルに関する授業を受ける生徒たち
(第一佐多中学校)



その他の質問

*教育行政

新たな事業としてホームステイ体験を取り入れる考えはないか？

*外国人労働者雇用

今後、受入れ先等に支援していく考えはないか？





あげのそのけんぞう
上之園 健三
議員

詳しくは
YouTubeで



問 稼げる農林水産業の振興策とは

町長

省力化や労力軽減・生産性向上に向けた
スマート技術推進による経営基盤強化へ

今年改選の年。町長が選挙に

向けた公約やこれまでの一般質問
答弁、更に立候補予定者の政策を
聞く会、所信表明等において公約
した政策の実効性について質問し
た。本来なら全ての項目について
質問したいところであるが、今回
は3項目に絞った。

◇農作物の最低価格保障制度の取 り組みに注目する

議員

農家経営の安定策の一つ
として以前質問した制度であるが、
稼げる農林水産業の振興策として、
町長のイメージする最低価格保障
制度とはどのような内容か。

町長

産業振興支援事業、生産

性の向上や作業の省力化・労力の
軽減を目的としたスマート技術の
活用による経営基盤の強化と農家
の生産コストを上回る最低価格の
明示が必要。全国的風潮や農水省
がめざす農業所得の価格安定と最
低価格の保障など、食料農業基本
法等に示す合理的な価格の設定を
検討する。

議員

農業の再生に欠かせない
のは農家経営が維持できる条件整
備であり、農作物の価格保障を中
心に所得補償を組み合わせて、生
産コストをカバーする施策をしつ
かり打つことだ。

国の制度である野菜価格安定制
度ではハードルが高すぎて小規模
農家の多い本町農家では不公平を
生じる。国の制度を参考にしなが
らも町独自の制度は考えないか。

町長

耕種農業が非常に厳しい
環境であることは理解している。
町独自の制度として考慮するも財
政面や制度設計において、国への
働きかけを重視する。

暮らしやすい 福祉サービス事業 (交通対策)は

町長

福祉のサービスは多種多
様。住み慣れた地域で安心して生
活できるよう移動手段の確保は不
可欠である。本年度設置する「地
域公共交通活性化協議会」にお
いて、現行のコ

ミュニティバス
等の運行体系を
見直しライドシ
ェアやデマンド
型導入も視野に
検討する。



議員

玄関先から乗降できる交
通手段の確保は現実的な考えか。

町長

関係法令等の整備も必要
であるが、実際に運行業者の配慮
で、ある程度利用者の希望に応じ
た運行状況であることから年度内
を目処に改正したい。

議員

佐多地区から鹿屋市の高
校への通学を希望する生徒が、早
朝、根占発のバスに間に合うため
の交通手段の確保は考えないか。

町長

一昨年は実証運行の実績
あり。当然ながら佐多から通学す
る環境整備は必要であるから通学
環境のサービスを整える。

議員

公共交通施策の中で整備
し、生徒のみの利用ではなく一般
利用者も考慮した上で、運行体系
を制度化して関係者等に周知する
ことが重要なことだ。

○根占新港整備に関する質問は、
具体性に欠けた内容であったた
め省略いたしました。あしから
ず



議員のひとり言

農作物の最低価格保障制度がようやく実現する見込みが立ったぞ!!



たなか あきろう
田中 明郎
議員

詳しくは
YouTubeで



問

町民の生活支援として交付された財源を用いた水道料金基本料免除の考えはないか

町長

限られた配分のため、今回はこれまで物価高騰支援が行き届かなかった福祉施設への支援について、全体の状況を踏まえて取り組む考え

議員

困っている方や高齢者への支援も考えていきつつ、対処をお願いしたい。

今後のホテル佐多岬の再開・観光推進についての計画は

町長

民間の経営力を活用する方向で検討中。地域経済の活性化や観光振興等図るために、長期的な視点で推進していく考え。

議員

マニフェストで示された民営化再開についての考えは。

町長

将来的な利活用についてのコンサルタントの調査結果では、町の運営ではなく完全な民営化で、今の館を無償譲渡か無償貸借した上で、民間に任せるべきという結論が出ている。

議員

新たに温泉を掘削する考えはないか。

町長

温泉は、宿泊施設の魅力度向上に一定の効果があると認識している。温泉掘削については今後その可否を含め、調査検討していく。議員 温泉掘削の件やホテルの再開は大泊地域住民の望みでもある。早期の取り組みを。

さたでい号の利用を促した体験型の観光推進は図れないか

町長

さたでい号は、自然を感じられる観光資源として、広く親しまれている。現時点で、廃船後の具体的な計画や詳細の在り方については検討段階であり、今後も意見収集や他の成功事例を参考に、推進策を検討していく。

議員

指定管理者を交えた協議はなされたのか。

企画観光課長

今回の検査（令和7年10月）では不適合となる旨、通知を受けた。修繕ができないか各方面調査したが、難しいとの回答。その後、指定管理団体との協議も行った。

郡、大泊へき地診療所の診療日程及び県からの医師派遣状況は

町長

診療日は次のとおり。

大泊	郡	へき地診療所名
火・金	月・木	曜日
9:30～11:00	10:00～14:00	時間

診療所内に掲示するなど、直接利用者へ周知している

医師派遣については引き続き、県へ要望していく。

本庁、支所にそれぞれ自治会担当の専門員の配置はできないか

町長

現時点では職員数の観点から配置は難しいため、地域担当職員制度を活用してほしい。

佐多地区小中一貫校の児童生徒の様子や施設整備の状況は

教育長

人数も増え、継続して指導している教職員も多かったため、楽しく健やかに過ごせる環境となっている。小、中学生の交流の機会も増し、相互理解や協力の精神を育む上で効果的に作用している。施設整備は令和3年度に中学校の大規模改修を計画していたが、小中一貫校に向けた協議が始まり、小学生受け入れのための工事を優先させた。引き続き、一体型校舎で学ぶ子どもたちが、安全かつ健全に成長できる環境づくりに努めていく。



もり た しげよし
森田 重義
議員



問 地域防災計画について

質問の意図

最優先に取り組むべき施策として

【高齢者・障がい者の支援】

◇地域防災計画は、地域の安全を確保する単なる防災対策にとどまらず、地域のコミュニティを再生し、「高齢者障がい者の支援」に寄与する重要な施策であると考えている。

・「安心安全なまちづくり」

・「危機管理を通じた地域コミュニティの再生」に向けて、前向きな議論を図るべく質問した。

地域防災計画の見直しはされたのか

町長 令和7年度中に改訂する。

◇現在、改訂すべき項目はあ

げているのか？

議員 「地域防災計画改訂事業」は委託費で計上されているが、外部調査機関だけの調査で、計画改訂をするのか？

消防防災支援員の助言や消防団の積み上げてきた危険箇所等の問題は反映されないのか？

町長 町内の盛り込むべき内容は、盛り込んでいく。

総務課長 国・県の修正箇所を踏まえ

・デジタル技術の活用

・避難所以外での支援などを、追加項目と考えている。

地域防災計画は地域の特性を反映されているのか

町長 それぞれの地域に適した「避難経路」や「避難場所」を設定見直しを行う。

所」を設定見直しを行う。

◇細分化した「地区防災計画」を策定する考えはないのか？

町長 大泊地区は地区防災計画の策定を予定している。

議員 自治会の自主防災組織力の低下、消防団の団員不足による避難誘導支援が困難になっていると危惧されるが。

◇要支援者の把握状況は？

介護福祉課長 独居老人者数：203名

要支援者数：94名

※要支援者登録の同意者のみの人数。

【情報共有機関として】

・社会福祉協議会

・地域包括支援センター

・高齢者、障がい者施設

町長 数値は対象実数ではないため、有事の際の重要な課題と危機感をもっている。

問 災害対策について

避難所の整備状況

●指定避難所数：22箇所

●収容人数：5250名

●発電機：25台

●大型扇風機：25台

議員提言 ★各避難所へ、

備蓄品等の分散配備を引き続き提言したい。

◇要支援者の支援強化のために消防団以外で災害対策組織を編成する考えはないのか？

町長 消防団員は10年前からすると100名ほど減少している。消防団OBに呼びかけ「火災時」において、消火活動の支援をお願いし、保障のできる組織化を考えている。

議員提言 ★消防団OBの方々の、負担と危険を伴わない支援活動と保障を兼ね備える、シニア防災アドバイザー制度の活用を提言したい。

令和5年災害被害箇所の状況

町長 県道8件（復旧完了済み）

※68号線は6年度に再度被災（工事中）

町道85件（2件未完了）

議員 同規模災害が発生被災しないように改善または対策は図られているのか？

町長 国道269号線立神（冠水）「改良計画中」大浜（土砂）「検討中」

石走（土砂）「検討中」

◇基幹道路（国道）の寸断に備え、町道の「迂回路」整備・計画の考えはないのか？

町長 基幹道路に代わる町道の迂回路は危険性を伴い難しいのが現状。可能な限り対応していく。

議員提言 ★県・国への改善改良（強靱化）要望をこれまで以上に努めていただきたい。

総括提言 地域防災を核に据えた「地域再生」が「地域の安全性を高める」有効な手段である。

①地域防災リーダーの育成

消防団員が少数でも、防災意識を高める役割となる。

②世代間交流と人材育成

子育て世代の防災イベントの企画と参加促進が不可欠である。

③シニア防災アドバイザー制度の導入

高齢者の知恵と経験を、負担なく活かす制度。

町長 現状をしっかりと見据えて、防災力を高める取り組みをしてまいります。



議員のひとり言

高齢者・障がい者の安全を守る！防災訓練で地域を強く！



とげん 肥後 玄十
議員

詳しくは
YouTubeで



問 耕作放棄地への具体的な対策は

町長 農地再生支援事業等で発生防止や 解消に継続的に取り組む

議員 今後10年以内に農家の高齢化や離農は加速していくことが現実視されているが、本町の耕作放棄地への具体策はどのように考えているか伺う。

町長 町では、農地再生支援事業として、造成・排水対策・土壌改良・畦畔除去等の農地改良を実施し、農地の機能回復を進め、営農を展開する農業者へ支援を行っている。令和6年度の助成は合計3件。今後も耕作放棄地の発生防止や解消に向けた対策を継続的に進めていく。

議員 対策としては、まだ物足りなさを感じる。例えば耕作放棄

地を利用して、農家が自由に使えるような育苗ハウスを新設するような考えはないか。

町長 現在、大泊にあるハウスの管理に苦慮しており、新設の考えはない。

議員 喜界町では、苗の管理は農家、ハウスの管理は自治体でという取り組みをしているようだが、根占地区にもこのようなハウスを望む農家の声が上がっているが、把握しておられるか。

町長 そのような声は聴いていない。ただ、既存のハウスで何かすべきではといった声はあるが種

苗・育苗が可能な否かも含め、検討はしてみたい。

議員 農地再生支援事業の予算を増額する考えはないか。

町長 再生事業に関する費用の2分の1、上限25万円の助成、農業委員会においても10アール当たり3万円の農地復旧謝金を支給しているが、現段階では現行の額で支援していく。あくまでも当初予算なので、需要があつた場合は補正を議会にお願いする。

議員 全国的にも今、農業法人が増加傾向にある。私が提案してきたような支援が実施されれば、農業法人や農家にとっても朗報で本町の耕作放棄地への対策の一つにもなるかと考えるが、改めて今後の対策を伺う。

町長 農業委員の意見も承り、規模拡大ができていくといった見通しが立った段階で、補助率を定めていく考え。

議員 塩田知事も「稼ぐ力」を県政の柱の一つにしている。本町の基幹産業でもある一次産業で稼ぐ力のモデルとなる取り組みをし

ていただきたい。

問 狐塚公園の整備をする考えはないか

町長 現段階では現状のまま

議員 遊具の劣化や危険性、維持管理費の問題で閉鎖になったと承知しているが、当時は前向きな検討はなかったのか。

町長 当時については不明だが子どもたちの数や公園が分散することによる管理費等を考え、現段階では現状のままという考え。

議員 特に春は綺麗な桜が満開で私の周りも、キャンプ場にしたらいい等、色んなアイデアを持っている。我々世代の声を聞く機会を作られてみてはどうか。



現在立入禁止となっている狐塚公園



おおつば ますこ
大坪 満寿子
議員

詳しくは
YouTubeで



問 農業公社の現在の取り組み状況は

町長 ラジコン草刈り機等を使った除草作業の受託に加え、本年度から農業用ドローンによる薬剤散布作業の取り組みを行っている

議員 成果及び実績は。

町長 令和6年度のラジコン草刈り機の利用件数は65件、草刈り機能付きパワーショベルは33件であった。農業用ドローンによる薬剤散布にも多数の利用申請がきている。このような状況から、潜在的な需要が発現したと捉えている。確実な事業実施により農家の皆さまの労働力軽減に向けた支援を進めていく。

議員 今後、注力する施策は。

町長 鹿兒島きもつき農協との連携強化を深めつつ、農家の皆さまへの支援が地域の農業生産活動の維持継続につながるよう進めて参りたい。

自治会支援について

議員 これから更新する自治会

町長 も放送設備の無償化は続けるのか。自治会の大小に関係なく無線・有線放送に限らず、自治振興支援として、無償化していく。

議員 自治会の放送設備は重要な連絡手段である。これからも無償化支援していただくよう私からも要望する。

総務課長 通学路に付いている防犯灯については、町が負担している。

議員 今回の選挙で全自治会を回ったが、街灯の電気料金の負担が大きいと話す住民も多い。通学路の街灯はもちろん大事だが、闇バイトなどどこで犯罪が起こるか分からない今の世の中。防犯という意味で考えれば、どこも同じと考えるが、各自治会の街灯の電気料金を平等にすべきでは。

町長 「電気代の負担が大きくなり街灯を切ろうか」という自治会もあり、3月に自治会支援をした経緯がある。

議員 一自治会がどれだけ世帯に負担をかけているか調査すべきと考える。

町長 自治会長会のご意見等を参考に今後検討していく。

議員 困っておられる自治会の手助けになるよう平等な形での支援を要望する。

馬毛島問題

議員 南大隅上空飛行回避策を要望する考えはないか。

町長 本町への物理的な影響は想定されていないと認識している。今後継続的に状況を注視していく。

議員 馬毛島基地の整備が整えば、夜間訓練も含め、様々な訓練が行われるようになる。南大隅町は安全なのか。住民の健康に影響はないのか。基幹産業である畜産、養豚、養鶏、漁業に影響はないのか。佐多岬や雄川の滝などの観光に影響はないのか。影響があつてはならない。日米地位協定があり、何かがあつても日本は踏み入ることすらできない。

西之表市長は上空飛行回避策を要望した。町長も防衛省に何度でも要望し、住民の生命と財産を守っていただきたい。



議員のひとり言

佐多辺塚から馬毛島は見えています。私たちの生活に影響があつてはなりません。



みづたに しゅんいち
水谷 俊一
議員

詳しくは
YouTubeで



問 町人会への補助金の拠出は妥当か？

町長 地域振興や産業振興ふるさと納税の増収のためにも意義があり、重要である
と考える

議員 令和7年度当初予算で

95万円、5月補正予算で50万円、合計145万円が、町人会等運営補助金として予算措置された。地方自治法第232条の2では、公益上必要がある場合においては補助することができるとある。南大隅町出身者ではあるが、町外在住者による町外の組織に対する運営補助金が町民にとって、「公益に資する」のか、私には全く理解できない。南大隅町補助金交付要綱にも、補助金対象事業として記載されていないものに、毎年多額の補助金が支払われることには、違和感がある。町人会への補助金の拠出は妥当だと考えるか伺う。

町長 令和4年度からこれまで、

町出身者で組織する県内1団体と県外2団体へ「町人会等運営補助金」の交付実績がある。
町人会組織においては、ふるさと納税をはじめ、地域振興や産業振興などに寄与いただけると、より近い、特別な関係人口としての位置づけであると認識している。会員の高齢化等により、年々、会の運営が厳しくなる中、それでも町の出身者が集い、郷土を愛し、物心両面のご支援をいただいていることに感謝するところである。町人会組織を維持し、連携を継続することにより、さらなる地域振興や、産業振興、ふるさと納税の増

収につなげるためにも、当該補助金は意義があり、重要であると考えている。

議員 地域振興や産業振興、ふ

るさと納税の増収に寄与するとの答弁、具体例を伺う。

企画観光課長 総会の際には、町長

以下、担当職員はもとより、多くの方が出席され、物産品等を購入いただき、ふるさと納税の紹介もさせていただいている。その場で、納税いただける方、その後に、納税をいただける方等いらつしやる。

議員 「ふるさと納税」をして

いただくということは、非常にありがたいことであり、心より感謝をするところである。自分の生まれ育った、故郷のことを思えばこそ、できることだと考える。しかし、「ふるさと納税」というものは、愛郷心、自分の生まれ育つたふるさとに、頑張つてほしいと思う気持ち、過疎高齢化の町で暮らす自分の親族や知人、そういう人たちにエールを込めての「ふるさと納税」ではないのか。補助金をいただくための「ふるさと納税」では決してないはず。今回、50万円の追加補正がなされた、この使い道

を把握されているか、伺う。

企画観光課長 今回の、50万円は、

関西南大隅会への補助金として、追加補正をお願いした。これは、企画していた記念大会が、コロナ禍で、開催できなくなり、コロナ禍が収束し、できる体制が整ってきたということで、追加補正をした。

また、補足だが、令和6年度においては、関東南大隅会でも、20周年記念大会が開催されるにあたり、100万円追加で、補助をさせていただいた実績がある。

議員 各地の南大隅会を、町と

の共催とし、その会に対する、負担金という形で、支払うことは、可能だと考える。しかし、負担金にすれば25万円はさすがに高い。議会で認め、決定したことでもあるが、やはり見直していくのも、我々、議会の務めであろうと考える。

町人会とは…？

町出身者でつくる、組織。

- ・ 関東南大隅会・関西南大隅会
- ・ 東海南大隅会
- ・ 佐多郷友会・在露根占会

議会だより
読者アンケート

ご意見・ご感想をお寄せください。

議会だよりを手にとってくださり、ありがとうございます。
今回から、町民の皆様に分かりやすく、読みやすく、親しまれる「議会だより」になるように改善していくための読者アンケートを実施しています。

頂戴したご意見、ご感想を今後の議会だよりづくりに生かしていきますので、どうぞ、ご協力をお願いします。

下記の二次元コード
を読み取りアンケート
フォームにお進みくだ
さい

回答締切：8月31日



【アンケートはこちらから】
スマートフォンから手軽に回答できます



編集後記

暦の上では、「立秋」秋の気配が、
ほの見える頃で、これ以降は、夏の名
残の残暑といわれています。近頃では、
少なくなりましたが、「暑中見舞い」
と「残暑見舞い」を使い分けながら、
季節の移ろいを届けたことを思い出し
ます。

まだまだ、暑い日が続きますが、朝
夕の庭先や、はたまた、活字の中にで
も「小さい秋」を探してみてはいかが
でしょうか。四季ある国に生まれた喜
びを味わうために。

今回、皆様のご意見を幅広く伺うた
めに、「読者アンケート」を始めました。
広報誌に関すること、議会運営に関
すること、町政全般に関することなど、
皆様の様々なご意見を伺うことによ
り、議会が変わり、町政が変わり、町
が変わっていきます。
多くのアンケート・コメントをお待
ちしています。

水谷 俊一

【お知らせ】

9月会議は、本庁議事堂で8日、
9日、17日に開催予定です。
議会傍聴にぜひお越しください。
詳しい日程等は議会事務局までお
問い合わせください。

【発行責任者】

議長 木佐貫徳和
〔広報広聴常任委員会〕

委員長 後藤 道子
副委員長 水谷 俊一
委員 肥後 玄十
委員 上之園 健三
委員 田中 明郎
委員 松元 勇治

南大隅町議会 広報広聴常任委員
会では、議会広報誌のモニターを募
集しています。
年4回発行される「みんなの議会」
に対して、皆様のご意見やご感想を
いただき、今後の議会広報活動に活
かしていきたいと考えています。詳
しくは議会事務局までお問い合わせ
ください。

【連絡先】南大隅町議会事務局
☎0994・24・3141